



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長

細谷 俊夫

幹 事 伴

誠

会報・雑誌委員長

床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3057号 2024年8月20日(晴れ) 第7回例会 会員数101名

ハイブリッド例会



点 鐘 細谷会長

司 会 副SAA 谷田部(勝) 会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ 小付 焼物 メンチカツサラダ添え
香の物 汁 御飯 デザート

ビジター紹介

片嶋副会長

◇卓話者

グローバル補助金奨学生 山田有紗さん

◇米山記念奨学生 何 蓁尼 (カジェニ) さん



会長挨拶

細谷会長

皆さん、こんにちは。2週間ぶりの例会です。本日も暑い中ご参加いただきありがとうございます。お盆が過ぎ、夏の暑さもひと段落して、朝晩はいくらか過ごしやすくなりましたが、まだまだ暑いので体調管理に気をつけましょう。

今朝、ロータリー財団より「ストックホルム大学へ留学生を派遣したグローバル補助金の最終報告書は、すべて要件を満たしているので完了です」とメールが入りました。今日は、そのグローバル補助金奨学生の山田有紗さんの帰国報告があります。スウェーデンでの貴重な体験のお話が聞けると思いますので、楽しみにして下さい。ちなみに、ストックホルムの今日の天気は晴れ、最高気温22℃だそうです。日本に帰国した山田さん。2年ぶりの日本の夏は、暑いでしょう。なれましたか？今日は、よろしく願いいたします。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生 何 蓁尼 (カジェニ) さん



幹事報告

伴幹事

◇来週8月27日は夜間例会で会員増強例会。

◇R財団の地区補助金の支給額2,000ドルに決定。補助金とスマイルボックスを併せ、鳳山西區扶輪社と協力し、高雄市の児童養護施設に粉ミルク、紙おむつ等を寄贈する事業の実現。

◇一身上の都合にて齋藤秀明会員が退会。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会

SAA代読

片嶋常隆会員

先日の大人の休日ゴルフコンペでは、暑い中でしたが、パートナーに恵まれて楽しくプレーする事ができました。おかげ様で優勝とニアピン賞3つをいただきました。ありがとうございました。

小林正明会員

8月25日(日)に開催される「ライトラインバースデーパーティー」に出展いたします。ライトラインのぬり絵うちわ製作ワークショップとライトラインの型抜きうちわの販売を行います。ご家族、お子様、お孫様を連れて是非、お越しください。

◇出席委員会

鈴木委員長

<皆出席表彰・7月分>

連続34年 太城 敏之会員

通算16年 菊地 正幸会員

連続15年 片嶋 常隆会員

通算7年 山本 修一会員



卓 話

「帰国報告」



グローバル補助金奨学生 山田有紗さん
皆さん、こんにちは。本日は、ご支援していただき留学が実現できた御礼と、留学の内容の報告に参りました。よろしくお願いたします。

ー パワーポイントにて説明 ー

自己紹介

- ・幼稚園から高校を卒業するまで宇都宮。
- ・中学校では吹奏楽部でクラリネットを演奏。
- ・高校では英語ディベート部に所属し、英語が話せるようになり、教育にも興味を持つ。
- ・慶応大学に入学後、東京大学教育学研究科にも進む。ストックホルム大学国際比較教育学マスタープログラムも学び、ストックホルム大学と東京大学と2つの修士号を予定。

ストックホルム大学はスウェーデンの国立大学です。国際比較教育学の修士課程のコースを6月に修了致しました。授業の言語は英語です（公用語はスウェーデン語）。ヨーロッパを中心に、様々な国からの留学生と一緒に学んだことが非常に貴重な経験でした。

修士論文の報告

修士論文は、「子供の声を聴くことに対するスウェーデン教師の信念—学校における子どもの権利条約第12条の実践」という題目です。背景として、スウェーデンでは、生徒の声を尊重して学校の意思決定に反映させることが、学習指導要領と教育法で義務付けられています。私が、2019年の交換留学でウプサラ大学に1年間留学した際にも、先生が生徒の考えを尊重しようとする姿勢に感銘を受けて、スウェーデンで学術的に研究したいと思いました。スウェーデンの現場の教育が「子どもの声を聞く」という行為をどのように捉え、どんな信念を持って生徒に向き合っているのか、明らかにする論文を書きました。

※研究について詳しくご説明頂きました。

実は、私自身、教員を目指しておりまして、来年の4月から中学校で英語教師として勤務することが決まりました。生徒の声が聴かれ、教師と生徒がお互いをひとりの人間として尊重し合う環境

の中で、生徒が自ら考え、幸せを定義・実現できる教育を理想とし、生徒の幸せに寄り添う教育者、研究者を目指したいと思っています。スウェーデンで、こんな先生になりたい、というモデルになるような先生方に出会えて、インタビューさせていただいたことが非常に貴重な経験でした。

ホストクラブとの関わりについて

私は、ストックホルムストランドというロータリークラブにホストクラブになっていただき、留学生活を送っておりました。こちらの写真は、宇都宮東ロータリークラブの細谷様と加藤様がスウェーデンにいらして、一緒に例会に参加した時のものです。まさか来ていただけると思っていなかったのですが、とても感激いたしました。ストックホルムストランドの例会は、毎週火曜日の朝7時30分からカフェで朝食をいただきながらの例会になります。何回か例会に参加させていただき、自己紹介のプレゼンテーションもさせていただきました。イベントでは、ミュージアムに行ったり、講演会、座談会等に参加させていただきました。他のロータリーの留学生と交流をする機会もありました。こちらの写真は、会長の奥様のお誘いで、スウェーデンのチーズフェスティバルに参加した時の写真です。

日常生活について

スウェーデンで思い出に残っているのは、自然を感じる暮らしです。冬はすごく寒く、日照時間も短いのですが、クリスマスが温かい気持ちになったり、夏や春の太陽にありがたみを感じました。夏至祭という、夏至をお祝いするお祭りもありました。勉学以外に、ウプサラ大学の留学生支援の団体にいらいただき、留学生支援の活動をいたしました。また、いろいろな国からの留学生と一緒に時間を過ごしたことが、かけがえのない経験になりました。

円安の物価高騰化の中、金銭的に安心して留学生活を送ることができました。宇都宮東ロータリークラブの皆様にお会いし、例会に参加させていただきましてこと、温かいお言葉をたくさんいただきましたこと、心より感謝申し上げます。人と人のつながりの大切さ、また、温かさを改めて実感し、学ばせていただきました。今回の留学経験と皆様への感謝の気持ちを糧に、生徒の声と彼らの幸せに寄り添うことが出来るような、教育者、研修者になることを目指して、より一層精進して参りたいと存じます。